

讚 佛 偈

光顏巍巍	威神無極
如是焰明	無與等者
日月摩尼	珠光焰耀
皆悉隱蔽	猶若聚墨(1)
如來容顏	超世無倫
正覺大音	響流十方
戒聞精進	三昧智慧
威德無侶	殊勝希有(2)

amita-prabha, anantatulya-buddhe,

アマタ・ブラバ(無量の光明をもつ者)よ、無限・無比の覚智をもつ者よ、

na ca iha anya prabhā vibhāti kācit.

ここでは、他のいかなる光明も輝かない。

sūrya-maṇi-sirīṇa candra-ābhā,

太陽と宝珠の光輝や月の光は、

na tapina bhāsiṣu ebhi sarva-loke.(1)

灼熱しても、それら〔の光〕で一切の世間に輝くことはない。

rūpam api anantu sattva-sāre,

生ける者の最上者においては、〔その〕色形も無限である。

tatha api buddha-svaro ananta-ghoṣaḥ.

また仏の音声も無限の響きがある。

śīlam api samādhi-prajña-vīryaiḥ

〔その〕戒や三昧・智慧・精進とともに〔無限である〕。

sadr̥śu na te 'stiha loki kaścīd anyah.(2)

この世間では、おんみに等しい者は他に全く存在しない。

深諦善念 諸佛法海

窮深盡奥 究其涯底

無明欲怒 世尊永無

人雄師子 神徳無量(3)

功勲廣大 智慧深妙

光明威相 震動大千

願我作佛 齊聖法王

過度生死 靡不解脱(4)

gabhiru vipulu sūkṣma prāptu dharmo,

深遠で、広大で、微妙なる法が、到達され、思惟された。

cintitu buddha-varo yathā samudrah.

最勝の仏は、あたかも海のようなのである。

tenonnamanā na cāsti śāstuh,

しかも、そのことによって、師には高慢がなく、

khila-doṣaṃ jahiyā atārṣi pāram.(3)

頑固と瞋恚とを捨てて、彼岸に渡られた。

yatha buddha-varo ananta-tejā

あたかも最勝の仏が、無限の威光をもち、

pratapasi sarva-diśā narendra-rājā,

人王中の王として、一切の方角を照らすように、

tatha ahu buddha bhavitva dharma-svāmī,

そのように、わたくしは法の主である仏となって、

jara-maraṇātu prajāṃ pramocayeyam.(4)

生類を老死から解放せしめよう。

布施調意 戒忍精進

如是三昧 智慧爲上

吾誓得佛 普行此願

一切恐懼 爲作大安(5)

假使有佛 百千億萬

無量大聖 數如恒沙

供養一切 斯等諸佛

不如求道 堅正不却(6)

dāna-damatha-śīla-kṣānti-vīrya-

布施と訓練と戒と忍辱と精進と

dhyāna-samādhi tathaiva agra-śreṣṭhām,

禪と三昧、これらとともに、同じく、最高・最良なる

ebhi ahu vratām samādadāmi,

もろもろの禁誓を、わたくしは受持する。

buddha bhaviṣyami sarva-sattva-trātā.(5)

[わたくしは] 一切の生ける者の救済者である仏になろう。

buddha-śata-sahasra-koṭy anekā

ガンジス河の砂のごとく無限なる、

yathariva vālika Gaṅgayā anantā,

十万・千万という無数の仏たち、

sarva ta ahu pūjayiṣya nāthān

かれらすべての主たちをば、わたくしは、

śiva-vara-bodhi gaveṣako atulyām.(6)

無比にして、吉祥・最勝なる覺りを求めて、供養するであろう。

譬如恒沙 諸佛世界

復不可計 無數刹土

光明悉照 徧此諸國

如是精進 威神難量(7)

令我作佛 國土第一

其衆奇妙 道場超絶

國如泥洹 而無等雙

我當哀愍 度脱一切(8)

Gaṅga-raja-samāna lokadhātūṃ

ガンジス河の砂塵に等しいもろもろの世界と、

tata bhūyottari ye ananta kṣetrā,

それよりもさらに多い無限のもろもろの国土に、

sarva ta prabha muñcayiṣya tatrā

それらすべてに、かしこで〔わたくしは〕光明を放つであろう、

iti etādṛśi vīryam ārabhiṣye.(7)

と、このような精進に〔わたくしは〕つとめるであろう。

kṣetra mama udāru agra-śreṣṭho,

わたくしの国土は、広大であり、最高・最良である。

varam iha maṇḍa pi saṃskṛtesmin.

この世の有為なるものの中でも、最勝であり、(覚りの)座(道場)であり

asadṛśa nirvāṇa-dhātu-saukhyam,

比類がない涅槃界の安楽である。

tac ca asattvatayā viśodhayiṣye.(8)

〔この国土は他に〕あることがないから、これを、また〔わたくしは〕清浄にしよう。

十方來生 心悅清淨

已到我國 快樂安隱

幸佛信明 是我真證

發願於彼 力精所欲(9)

十方世尊 智慧無礙

常令此尊 知我心行

假令身止 諸苦毒中

我行精進 忍終不悔(10)

daśa-diśata samāgatāni sattvā

十方より来集した生ける者たちは、

tatra gatāḥ sukham eti santi kṣipram.

かしこに行き、かれらはすみやかに安楽となる。

buddha mama pramāṇa atra sākṣī,

この点について、仏はわたくしの規準であり、証人である。

avitatha-vīrya-balaṃ janemi cchandaṃ.(9)

真実の精進力のある意欲を〔わたくしは〕起こす。

daśa-diśa-loka-vidū asaṅga-jñānī

十方の世間を知る者、とらわれのない知をもつ者たち、

sada mama cittu prajānāyantu te pi.

かれらも常にわたくしの心を知りたまえ。

avici-gatu ahaṃ sadā vaseyaṃ,

わたくしは、阿鼻〔地獄〕に行つて常に住しようとも、

praṇidhi-balaṃ na punar nivartayiṣye.(10)

誓願の力を決してひるがえさないであろう。